

「出農がスーパー専門高校へ」

本年度からスーパー専門高校の指定を文部科学省から受け、三年間取り組めます。全国から71校の応募があり、14校が指定を受けました。

出雲アーケード市で農産物・加工品の販売をする生徒



本校が取り組む主な内容は、援農隊の活動とチャレンジショップの経営です。援農隊は休耕田の請負耕作やレンゲ畑づくりとムクホウフの浜の復活などに取り組めます。チャレンジショップは、生徒の製作品を自分たちの手で販売する取り組みです。

また、国内研修旅行や、中央アジア研修旅行も計画しています。生徒の皆さんが、自分で業を興すことのできる能力や態度を育てることを目標とし、農業食料環境のスペシャリストになることを目指し、さまざまな取組みを計画しています。



タケノコ缶詰製造実習中の食品科学科1年生

集団宿泊研修を終えて

一年学年会

四月十二日から三日間県立少年自然の家で集団宿泊研修をしました。この研修の目的はクラスづくり、学習指導、集団行動の訓練の3点です。

クラスづくり

学校になじむためには、早い時期にお互いを知ることが大切なので「クラス交流会」、「エフカウンター」を実施しました。一日目の夜からは違う中学校でも積極的に話しをし、クラス内の雰囲気がとても活気づきました。また、二日目は科別活動や「炎の芸術」(写真上)もしました。



学習指導

「どうせできないから」と言ってしまう人が多くいます。しかし、「これはできる、できないではなく、やる、やらないの問題です。この研修では事前テスト、講義、自主学習、事後テストというプログラムで数学の授業をしました。

集団行動の訓練

ここでは、集団で行動することの大切さ、難しさ、素晴らしさを体感するために「時間を守る」、「話をきちんと聞く」といった点をモットーに、その徹底を図りました。最終日には整列訓練や校歌練習も行いました。

どういしょ！ 学校長 佐野 明

入学式で、自分、友達、学校故郷を大事にして欲しいと話し、矢沢宰の詩を紹介しました。



ぼくは天才少年ではないから
ぼくの持っているものだけを
ぼくにあうように
つまみだせばいいのさ
するとそこに小さな真実が生まれる
その小さな真実を
恥ずかしがることはないのだよ
その小さな真実を
どっかいしょ！と背負って
旅をすればいいのさ

「ご家庭でも、自分を卑下することなく、小さな真実を背負って、学校生活を送ろうとするお子様を誇りに思い、しっかり支えてください。」

生徒の感想

数学が一番苦手なのでいくら勉強をしても上がらないと思っていたのに、短い時間であんなに上がるならもっと一杯勉強したいって思うようになりました。

生徒の感想

研修全体を通してみんなと協力することの大切さや自分から向かっていくことの大切さを中学校の時よりしっかりと感じ、よい経験になりました。

5月の行事予定

日	曜	項 目
1	日	
2	月	追認考査
3	火	憲法記念日
4	水	国民の休日
5	木	こどもの日
6	金	歯科検診
7	土	陸上島根県選手権(益田)～8日
8	日	ウエイトリフティング県選手権(本校)
9	月	
10	火	歯科検診
11	水	歯科検診
12	木	内科検診、生徒と語る会(1年)
13	金	
14	土	
15	日	PTA総会(出校日)
16	月	中間考査
17	火	代休
18	水	中間考査
19	木	中間考査 、企業見学(3年希望者)
20	金	
21	土	小論模試
22	日	測量士補
23	月	
24	火	全校朝礼
25	水	職員会議
26	木	生徒総会、壮行式、耳鼻科検診
27	金	漢字検定第1回、陸上総体(松江)
28	土	公務員模試(3年)、
29	日	
30	月	
31	火	意見発表会校内大会



ちょっとわかりにくいけど、これは4月末の学校農場のブドウの実です。来月号を発行するころはもっと大きくなっていることでしょうね！

「高校を卒業して」前家庭クラブ会長

長岡三香子



高校を卒業して、もう二ヶ月が過ぎようとしています。学生の頃とは違い、自己責任、自己管理が大切になってくる社会人。

私は、四月から会社に勤務させてもらい、今は研修期間中です。分からないことだらけで、毎日の研修が覚えることでいっぱいです。楽しいこともあれば、つまらないことや大変なこともあります。ですが、それは誰もが避けて通れない初めての第一歩の道のりなので、自分に出来ることから一つずつ覚えていこうと思います。

仕事をしていく上で、私が一番重要だと思ったのは、「聴く力」です。ただ、相手の目を見て、相手が話している内容を聴くだけのことで、この力があれば話をしてくれる仕事の先輩や、上司の人にやる気をアピールすることが出来るし、話の内容が自然に理解できるようになると思います。一見簡単そうに思えるこの力ですが、意外と難しく、すぐに出来るものではありません。もちろん私も力不足です。しかし、慣れてしまえばとても簡単なことだと思います。学校に通っているみなさんは普段から授業などで話を聞く時間がたくさんあると思います。

普段の授業を今が楽だからとボーっと過ごすのではなく、少し先を見て将来ちょっとだけ楽をするために今から授業などを使って「聴く力」のトレーニングをしてみてもいいですか。

「車の中はしゃべり場」

石川 弥生(保護者)



私は、朝夕娘を送り迎えしています。朝夕あわせて1時間、娘との会話の時間です。

たぶん毎日、自転車だと朝早く出て、夜は遅く疲れて帰ってくれば、食事をして寝るだけの毎日でしょう。会話なんてほとんど出来ないだろうと思います。次男が高校生の時、体調をくずして喘息の発作を頻繁に出すようになった時、ペーパードライバーだった私は一念発起して車に乗るようになりました。以来、それまでほとんど自分からは何も話さなかった人が、朝夕の車の中での時間が少しずつ話し合える時間に変化していき、今でも車の中はしゃべり場です。

親の目からは、元気で部活も頑張ってる毎日を楽しんでいるように見えても、心の中までは、なかなかわかりません。でも、毎日の会話の中で少しでも、子どもの心が聞けたらと、今は末娘の送迎に、日々一喜一憂しています。

編集担当者ひとりごと
今年度から、年二回(七月・二月)発行していましたが「学校だより」を月報として毎月発行することになりました。校内の様子やPTA活動についてタイムリーに紹介したいと思っています。
第一号は、総会案内にあわせて各家庭に郵送させていただきます。次号からは、各担任より生徒を通じて配布致しますのでご確認下さい。

第1回PTA評議員会の様子



同封の総会案内をご覧ください。授業参観、施設見学、学校紹介番組放映、担任との面談など盛りだくさんの内容になっていますので是非、ご出席ください。

PTA総会について
去る四月二十四日(日)にPTA評議員会が開催され、そこで、総会(五月十五日)について協議が行われました。
評議員からの意見に、出農高について意外と知らない、「子供の所属する学科について知りたい」資料や話でなく、実際に見学や体験をしたり、スライドや映像を使って学校の説明をして欲しい、などがあり、それらを反映した総会にしたいと思えます。